

北海道大学 地球惑星科学部門・寄附分野
北海道気象予測技術分野（北海道気象技術センター）

株式会社 北海道気象技術センター

■目的

気候変動の影響を強く受け激甚化する北海道の気象予測のため、理学から工学まで多岐にわたる分野の最先端の知見を結集した技術開発（研究）と、そのような学際的な人材育成（教育）を行うことを目的とします。

■寄附講座の概要

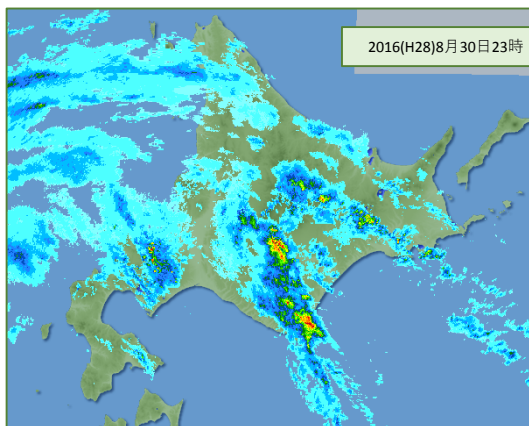
- 1 教育研究組織名
国立大学法人 北海道大学 大学院理学研究院 地球惑星科学部門
- 2 寄附講座等の名称
北海道気象予測技術開発分野（北海道気象技術センター）
- 3 寄附者
株式会社 北海道気象技術センター
- 4 寄附の期間
2019年4月1日～2022年3月31日の3年間
- 5 担当教員名及び職名
稲津 將（教授・兼任）
山田 朋人（工学研究院准教授・兼任）
佐藤 陽祐（特任准教授）



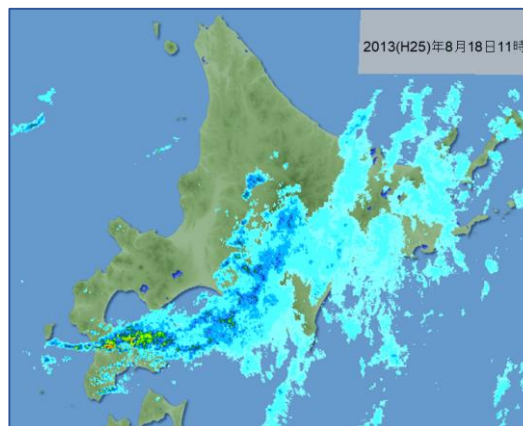
6 研究目的及び研究課題

2016年の台風被害に象徴されるように、北海道においてこれまで経験したことのない気象による災害リスクが大きくなっています。

激甚化する北海道の極端気象が河川や交通に与えるリスクに着目し、現業対応までを考慮した気象災害予測技術の開発を行います。たとえば、集中豪雨・融雪による突発的な河川氾濫に対する機動的な対応のため、数日先の短時間強雨ポテンシャルを評価するなど、予報データに対する新たな解析スキームを開発します。



“地形性降雨”による山岳部の記録的な大雨が山麓の市街地に大洪水をもたらしました



予測の難しい“線状降水帯”による災害が増加しています